

第 45 回宇都宮市民芸術祭 書道部門 審査総評

3年前から出品点数が増加していることは、明るい兆しを感じられた。
若い高校生の作品も全体の 1/3 であり会場全体が明るい。小品の中にも光る作品があった。
篆刻、刻字の作品が少ないのは残念に思う。
ジャンルも幅広く、ベテランから高校生の作品があり、見ていて楽しい書展となっている。
優れた作品が多かったので、秀作も例年より増えた。
市民芸術祭賞は余白を生かした雄大な表現である。
準市民芸術祭賞は筆技よく余白が生きて力作であった。

審査長 赤澤 豊